

2022年1月12日

報道関係各位

Bike Life Lab supported by バイク王

## Bike Life Lab supported by バイク王 『リセール・プライス』ランキングを発表 『ホンダ・GB350』が初登場首位獲得！

対象期間 2021年9月～2021年11月

バイクライフを楽しく、豊かにする情報を広く社会に発信することを目的に活動を行う『Bike Life Lab supported by バイク王』(所在地: 東京都港区、運営: 株式会社バイク王&カンパニー)は、2021年9月～2021年11月の期間を対象に、『再び売却した際、高値の付くバイク』＝『“リセール・プライス”の高いバイク』上位10車種を発表します。

『“リセール・プライス”の高いバイク』は、需要の高いバイク、つまり『人気のあるバイク』と言い換えることもできます。39回目となる今回は「ホンダ・GB350」が首位に輝きました。

### ◇『ホンダ・GB350』が 初登場首位獲得！

◇上位3車種がすべて中型二輪！

◇初登場車両が5台ランクイン！



#### ◇佐川健太郎氏 インプレッションムービー公開中

『リセール・プライス』ランキングにて、上位10車種にランクインしたモデルを始め、複数の人気車種をモーターサイクルジャーナリストの佐川健太郎氏にインプレッションしていただきました。詳しくはURL (<https://www.8190.jp/bikelifelab/movie/shijou/>) をご覧ください。

※本リリースの調査結果を転載される際は、必ず「Bike Life Lab 調べ」とご明記ください。

※本調査結果は、下記のサイトでも公開されております。

・Bike Life Lab supported by バイク王(<https://www.8190.jp/bikelifelab/news/resale-ranking/>)

※本プレスリリースに関する画像が必要な際は下記連絡先までご一報ください。

#### プレスリリースに関するお問い合わせ先

##### ■株式会社バイク王&カンパニー

Bike Life Lab (バイクライフラボ)

担当: 山下、西方

T E L 03-6803-8855

E-mail [bikelife\\_lab@8190.co.jp](mailto:bikelife_lab@8190.co.jp)

東京都港区海岸 3-9-15 LOOP-X 13F

##### ■株式会社スクランブル

プランニング局

担当: 高島、仲田

T E L 03-6894-6895 / FAX 03-5413-3050

E-mail [bike-o@scramble.jp](mailto:bike-o@scramble.jp)

東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

## ■ 総合ランキング

| 順位 | メーカー・車種              | リセール・プライス |
|----|----------------------|-----------|
| 1  | New ホンダ・GB350        | 121.2Pt   |
| 2  | New ホンダ・GB350 S      | 119.2Pt   |
| 3  | ホンダ・CB400 SUPER FOUR | 118.6Pt   |
| 4  | New ホンダ・レブル 1100 DCT | 109.6Pt   |
| 5  | カワサキ・Z900RS          | 108.7Pt   |
| 6  | ホンダ・クロスカブ 110        | 107.6Pt   |
| 7  | カワサキ・Z900RS CAFE     | 106.7Pt   |
| 8  | New カワサキ・W800 STREET | 100.7Pt   |
| 9  | ホンダ・レブル 250          | 100.1Pt   |
| 10 | New ホンダ・CB1100RS     | 99.9Pt    |

◇対象期間 2021年9月～2021年11月

第39回となる『リセール・プライス』ランキングは、『ホンダ・GB350』が2位に2.0Pt差を付け初登場首位に輝きました。

1位にランクインしたホンダ・GB350は排気量348ccの空冷単気筒エンジンを搭載し2021年4月に発売された車両です。このモデルは、前年(2020年)9月にインド市場で発表された「ハynes CB350」がベースです。インドではCBという名前でしたが、日本では「GB」がシリーズ名として復活しました。セミダブルクレードルタイプのフレーム、5速マニュアルミッション、前後ディスクブレーキ、エンジントルクを制御するHondaセレクトダブルトルクコントロール(HSTC)とABSが搭載されています。登場年の7月には、派生モデルとして同2位にランクインしたホンダ・GB350 Sも発売されました。リアタイヤがワイド、小径化され、ラジアルタイヤを採用。マフラーが跳ね上げられ前後フェンダーはショートタイプ、フォークブーツも採用され、スタンダードモデルとは外観や乗り味など異なる部分があり楽しめる車両です。発売から約半年となり、中古車市場へ流通し始めたばかりであることによる高値傾向であると推察されます。

新年を迎え春のバイクシーズンに向かっていく中で、今後のランキングにどのような変化をもたらすのか、引き続き『リセール・プライス』ランキングにご注目ください。

## ■ 排気量別ランキング上位5位

・原付一種・二種

| 順位 | メーカー・車種         | リセール・プライス |
|----|-----------------|-----------|
| 1  | ホンダ・クロスカブ 110   | 107.6 Pt  |
| 2  | ホンダ・CT125ハンターカブ | 97.8 Pt   |
| 3  | ホンダ・モンキー125     | 95.9 Pt   |
| 4  | ホンダ・スーパーカブ 110  | 91.0 Pt   |
| 5  | カワサキ・Z125 PRO   | 86.9 Pt   |

・軽二輪

| 順位 | メーカー・車種                           | リセール・プライス |
|----|-----------------------------------|-----------|
| 1  | ホンダ・レブル 250                       | 100.1 Pt  |
| 2  | カワサキ・Ninja ZX-25R/Ninja ZX-25R SE | 96.1 Pt   |
| 3  | ホンダ・CRF250L                       | 91.5 Pt   |
| 4  | カワサキ・Ninja 250                    | 86.5 Pt   |
| 5  | ホンダ・PCX160                        | 85.4 Pt   |

## ・中型二輪

| 順位 | メーカー・車種              | リセール・プライス |
|----|----------------------|-----------|
| 1  | New ホンダ・GB350        | 121.2 Pt  |
| 2  | New ホンダ・GB350 S      | 119.2 Pt  |
| 3  | ホンダ・CB400 SUPER FOUR | 118.6 Pt  |
| 4  | カワサキ・Ninja 400       | 87.2 Pt   |
| 5  | ホンダ・400X             | 84.2 Pt   |

## ・大型二輪

| 順位 | メーカー・車種              | リセール・プライス |
|----|----------------------|-----------|
| 1  | New ホンダ・レブル 1100 DCT | 109.6 Pt  |
| 2  | カワサキ・Z900RS          | 108.6 Pt  |
| 3  | カワサキ・Z900RS CAFÉ     | 106.6 Pt  |
| 4  | New カワサキ・W800 STREET | 100.7 Pt  |
| 5  | New ホンダ・CB1100RS     | 99.8 Pt   |

### ■ 『リセール・プライス』とは

バイクを再び売却(=リセール)するときの価格(=プライス)を指します。

2022年1月現在、新車で購入が可能なバイクを対象とし、オークションで売却した際の落札金額の平均値と新車販売価格を基に『リセール・プライス』をポイント化。ポイント数が高いほど、『リセール・プライス』が高いと想定できます。

本指標は、200万台以上の累計取扱台数を誇る『バイク王』のデータを基に、Bike Life Lab が独自に集計したものであり、バイクユーザーが新車あるいは中古バイクを購入する際の参考情報として活用されることを目的としています。

### ■ 算定基準

- ・国内主要4メーカーが、国内で販売しているバイク(2022年1月現在・逆輸入車を除く)
- ・新車販売価格は2022年1月現在の価格を基準。カラー等により価格が複数ある場合は、最安値を基準に算定
- ・モデルチェンジが実施された場合は、最新モデルのみを対象とする
- ・期間内に、Bike Life Lab 独自の規定台数に達する流通があるバイクを対象とする

## 【Bike Life Lab supported by バイク王について】

バイク王 バイクライフ研究所は、コーポレートミッションとして「まだ世界にない、感動をつくる。」を掲げ、ビジョンである「バイクライフの生涯パートナー」の実現を目指している株式会社バイク王&カンパニーが、バイクライフの楽しさやバイク市場の動向などを広く社会に発信することを目的に、2011年8月に発足した情報発信組織であり、2017年3月からは「Bike Life Lab (バイクライフラボ)」というバイクコンテンツサイトを運営しております。

2019年2月より、ライダーにとってより身近で、より強固なエンゲージメントを持った情報発信組織に成長していくために、「バイク王 バイクライフ研究所」を「Bike Life Lab supported by バイク王」に名称変更し、併せてバイクコンテンツサイト名も「Bike Life Lab supported by バイク王」に統合しました。

Bike Life Lab supported by バイク王は、バイクライフを楽しく、豊かにする情報を広く社会に発信していくことで、バイク業界の活性化に寄与していきたいと考えています。

Enjoy Life with Bike

バイクがあれば もっと楽しい

**Bike Life Lab**  
supported by **BIKE 王**